

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年4月3日提出
【発行者名】	三菱UFJ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松田 通
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【電話番号】	03-6250-4740
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	世界投資適格債オープン（為替ヘッジあり）（毎月決算型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2020年3月11日付をもって提出した有価証券届出書について、2020年4月1日付で有価証券届出書の訂正届出書（以下、「本件訂正届出書」といいます。）を提出したところですが、本件訂正届出書をわかりやすくするため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出いたします。なお本件訂正届出書は、当ファンドの商品性をより適切な表現にするために提出したものです。

2【訂正の内容】

<訂正前> は、2020年3月11日付をもって提出した有価証券届出書の内容を記載しております。

<訂正前> および<訂正後> に記載している下線部_は訂正部分を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

(略)

[ファンドの目的・特色]

<訂正前>

ファンドの目的

安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

特色1 日本を除く世界の投資適格格付けを有する社債とソブリン債券に投資し、安定したインカムゲインの確保と、債券の値上がり益および為替差益の獲得を目指します。

- ◆ ワールド・インベストメント・グレード・ボンド・ファンド^{*1}（以下「WIGBF」ということがあります。）への投資を通じて、主として日本を除く^{*2}世界の投資適格格付け（BBB格相当以上）を有する社債^{*3}とソブリン債券^{*4}に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンドへの投資も行います。
- ◆ 日本を除く世界の投資適格格付け（BBB格相当以上）を有する社債とソブリン債券を実質的な主要投資対象とすることで、信用リスクの低減を図り、安定したインカムゲインの確保と債券の値上がり益の獲得を目指します。

^{*1} WIGBFは、円建のケイマン籍投資信託証券で、JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが運用を行います。

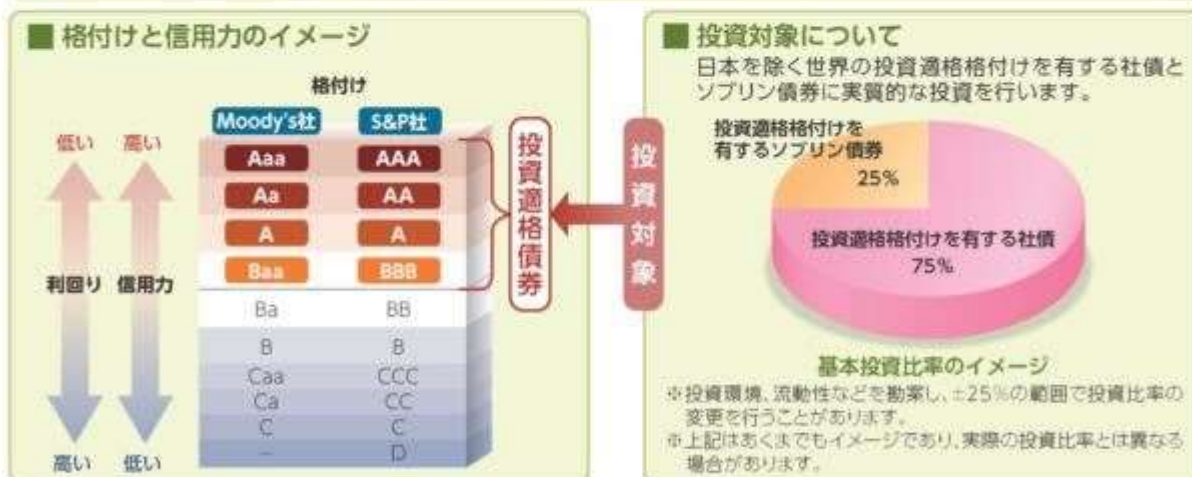
^{*2} 日本国内で発行されるものおよび海外で発行される円建のものを除きます。なお、日本企業が海外において外資建で発行する社債へ投資することがあります。

^{*3} 当ファンドにおいて、社債にはCoCosを含みます。CoCosについては、投資リスク「CoCos固有のリスク」をご参照ください。

^{*4} 当ファンドにおいて、ソブリン債券とは、各国政府や政府機関が発行する債券の総称で、自国通貨建・外国通貨建があります。また、世界銀行やアジア開発銀行など国際機関が発行する債券もこれに含まれます。

WIGBFの主な運用方針

- 基本投資比率は、社債75%程度、ソブリン債券25%程度です。
（投資環境、流動性などを勘案し、±25%の範囲で投資比率の変更を行うことがあります。）
- 個別銘柄の投資にあたっては、取得時においてS&P社またはMoody's社による格付け（両社の格付けが異なる場合は高い方の格付け）が、原則としてBBB格相当以上とします。
- 格下げによりBBB格未満となった場合は、原則として1ヵ月以内に売却します。



特色2 原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

- ◆ 当ファンドが投資を行うWIGBFにおいては、米ドルやユーロなど複数通貨（以下「原資産通貨」ということがあります。）建の債券に投資しますが、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。^{*}

^{*} 原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、完全な為替変動リスクを排除することはできません。

（略）

<訂正後>

ファンドの目的

安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

特色1 日本を除く世界の投資適格格付けを有する社債とソブリン債券に投資し、安定したインカムゲインの確保と、債券の値上がり益の獲得を目指します。

- ◆ ワールド・インベストメント・グレード・ボンド・ファンド^{*1}（以下「WIGBF」ということがあります。）への投資を通じて、主として日本を除く^{*2}世界の投資適格格付け（BBB格相当以上）を有する社債^{*3}とソブリン債券^{*4}に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンドへの投資も行います。
- ◆ 日本を除く世界の投資適格格付け（BBB格相当以上）を有する社債とソブリン債券を実質的な主要投資対象とすることで、信用リスクの低減を図り、安定したインカムゲインの確保と債券の値上がり益の獲得を目指します。

^{*1} WIGBFは、円建のケイマン籍投資信託証券で、JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが運用を行います。

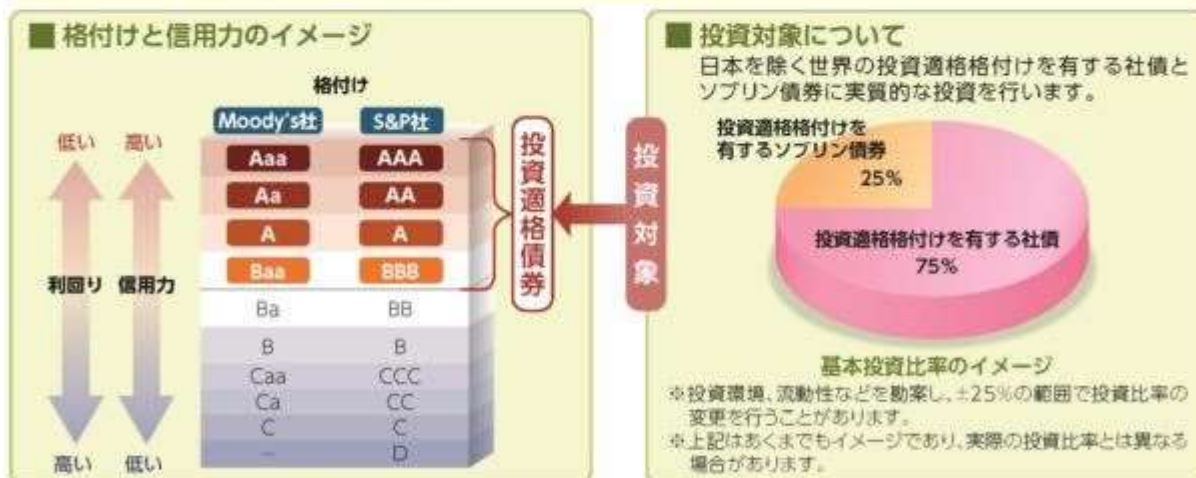
^{*2} 日本国内で発行されるものおよび海外で発行される円建のものを除きます。なお、日本企業が海外において外資建で発行する社債へ投資することがあります。

^{*3} 当ファンドにおいて、社債にはCoCosを含みます。CoCosについては、投資リスク「CoCos固有のリスク」をご参照ください。

^{*4} 当ファンドにおいて、ソブリン債券とは、各国政府や政府機関が発行する債券の総称で、国通貨債・外国通貨債があります。また、世界銀行やアジア開発銀行など国際機関が発行する債券もこれに含まれます。

WIGBFの主な運用方針

- 基本投資比率は、社債75%程度、ソブリン債券25%程度です。（投資環境、流動性などを勘案し、±25%の範囲で投資比率の変更を行うことがあります。）
- 個別銘柄の投資にあたっては、取得時においてS&P社またはMoody's社による格付け（両社の格付けが異なる場合は高い方の格付け）が、原則としてBBB格相当以上とします。
- 格下げによりBBB格未満となった場合は、原則として1ヵ月以内に売却します。



特色2 原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

- ◆ 当ファンドが投資を行うWIGBFにおいては、米ドルやユーロなど複数通貨（以下「原資産通貨」ということがあります。）建の債券に投資しますが、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。^{*}

^{*} 原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、完全に為替変動リスクを排除することはできません。

（略）